

監督会議案件

1. 競技の進行について

団体戦について

- (1) 予選リーグは2台進行、決勝トーナメントは3台進行とする。
 - (2) 今年度は、予選リーグは、すべて5番までやるとする。ただし、スコアは勝敗が決まった時点での点数を記入すること。決勝トーナメントは、決着がつき次第、終了とする。
 - (3) 不完全チームとの試合
 - ・5人以下の不完全チームであっても勝ち上がりを認める。
 - ・5人チームは1番棄権、4人チームは1、2番棄権として試合を行うため、対戦校はオーダーの組み方に注意が必要である。不完全チームと対戦する学校は、相手が棄権であってもオーダー用紙には必ず1～5番まで選手名を入れること。
- | | |
|------------------|------------------|
| 男子・・・Aリーグ：三条（5人） | Eリーグ：CutBack（5人） |
| Fリーグ：八戸東（5人） | Jリーグ：夏井 |
| 女子・・・Aリーグ：泊（5人） | Bリーグ：島守（5人） |
| Cリーグ：小中野（5人） | Dリーグ：鮫（5人） |
| Eリーグ：堀口（5人） | Fリーグ：三戸（5人） |
| Gリーグ：中沢（5人） | Hリーグ：長者（5人） |
- (4) ダブルスのルールについて確認。
 - ・5ゲーム目、どちらかの組が先に5点先取してチェンジコートするとき、レシーバーもチェンジする。
 - (5) 審判は両校から1名ずつ出して下さい。生徒審判のため、判定が難しいこともあるかもしれません。ベンチに入る監督、アドバイザーは教育的配慮で対応して頂き、何かあれば本部までお願いします。
 - (6) ノーコールで進めたいので、オーダーを早めに提出してください。

個人戦について

- (1) 全試合、原則コールなしで行う。コート変更や有事の際等にのみ放送する。
- (2) 前の試合がセットカウント2-0もしくは2-1になったら、ギャラリーから移動を開始し、使用するコートの後ろで座って待機する。前の試合が終わり次第すぐに練習、試合を開始する。
- (3) 勝者は対戦表（バインダーも一緒に）を進行席までもって来る。
- (4) 敗者審判です。1回戦の審判はそのコートの2試合目の選手にお願いします。
- (5) 審判への確認は、選手のみができる。

2. ベンチについて

- (1) 団体戦ベンチには、監督1名、アドバイザー1名まで入ることができる。
 - ※登録変更の際は、長谷部まで連絡を。（生徒の登録変更は認めません。）
 - ※個人戦ベンチは、なし
- (2) 団体戦のときのアドバイスは1分以内なので、水分補給をしながら行うなど時間を厳守すること（審判にも）。

3. その他

- (1) 地震発生時は放送の指示に従うよう、生徒に連絡をお願いします。
- (2) 土足厳禁です。マナーをしっかりと守るよう、連絡をお願いします。
- (3) 団体ベスト4の学校、個人ベスト8の生徒には賞状等を用意してあります。閉会式を行いませんので、結果が決まり次第、代表者はステージ上に来てください。
- (4) 予選リーグ第1試合のオーダーの提出は8：30までとします。その後は、前の試合が終わり次第、すぐに提出して下さい。決勝トーナメントは、対戦校が決まり次第、すぐに提出して下さい。
- (5) 個人ベスト8に入った生徒のいる八戸市内チームは片づけのご協力をお願いします。

(6) 試合をスムーズに進めるために、以下のことに協力ください。

- ・試合前の円陣等を行わず、速やかに始める。
- ・試合後に、相手監督へのあいさつは控えてください。
- ・試合後のミーティングは、フロアで行わず外で行ってください。
- ・勝敗が決まったら、すぐに進行に持ってきてください。

4. 不完全チーム対不完全チームとの試合について

	5人チーム	vs	5人チーム
1	棄権	-	棄権
2		-	
3		-	
4		-	
5		-	
両チーム1番が棄権のため、2～5番の試合で勝敗を決めなければならないが、2勝2敗となる場合が考えられる。その際は、 ① 2～5番のゲーム数の総数 ② 2～5番のポイント数の総数 の順に調べ、勝敗を決める。			

	5人チーム	vs	4人チーム
1	棄権	-	棄権
2	○	-	棄権
3		-	
4		-	
5		-	
5人チームは1番棄権、4人チームは1, 2番棄権である。 2勝2敗となる場合が考えられる。その際は、 ① 3～5番のゲーム数の総数 ただし、2番は3-0で5人チームの勝ちとする。 ② 3～5番のポイント数の総数 の順に調べ、勝敗を決める。			

	5人チーム	vs	3人チーム
1	棄権	-	棄権
2		-	
3	○	-	棄権
4		-	
5		-	
5人チームは1番棄権、3人チームは1番、3番が棄権である 2勝2敗となる場合が考えられる。その際は、 ① 2～5番のゲーム数の総数 ただし、3番は3-0で5人チームの勝利とする。 ② 2～5番のポイント数の総数 の順に調べ、勝敗を決める。			

	4人チーム	vs	4人チーム
1	棄権	-	棄権
2	棄権	-	棄権
3		-	
4		-	
5		-	
両チーム1, 2番が棄権である。			

	4人チーム	vs	3人チーム
1	○	-	棄権
2		-	
3	棄権	-	棄権
4		-	
5		-	
※3人チームの試合形式に合わせる。 2勝2敗となる場合が考えられる。その際は、 ① 3番以外のゲーム数の総数 ただし、1番は3-0で4人チームの勝ちとする。 ② ポイント数の総数 の順に調べ、勝敗を決める。			

	3人チーム	vs	3人チーム
1	棄権	-	棄権
2		-	
3	棄権	-	棄権
4		-	
5		-	
両チーム1番、3番が棄権である。			